

へきけんニュース

2004年3月16日発行 第36号

北海道教育大学へき地教育研究施設
〒068-8642 岩見沢市緑が丘2丁目34番地
TEL:0126-32-0208 FAX:0126-32-0259
E-mail hekiken@iwa.hokkyodai.ac.jp
URL <http://reiw.iwa.hokkyodai.ac.jp/hekiken>

4月1日から「へき地教育研究センター」に名称変更

昭和45年以来長く親しんできた「へき地教育研究施設」は、本学の国立大学法人への移行に伴い、平成16年4月1日をもって「へき地教育研究センター」となります。現在、法人化移行準備委員会においてセンター規則を審議していただいています。組織、運営はもとより、部門、業務の表記を一新して、へき地・小規模校教育の充実、振興に寄与することをめざします。

平成16年度「へき地教育研究計画」の募集

へき研の研究費による「へき地教育研究計画」を下記のように受け付けます。研究費の性格から、研究題目ならびに内容はへき地教育の分野に関連するものであること、その成果は次年度の研究紀要『へき地教育研究』に投稿することが義務づけられています。

研究計画の申請

* 所定の計画書はへき研事務室（内線55-208）までお問い合わせください。なお、へき研ホームページでも掲載しております。

* 記述にあたっては、研究目的・内容を具体的にお書きください。

* 経費は、校費（備品・消耗品・その他）のみで、「旅費・諸謝金」はありません。

* 申請額の上限は、20万円の予定です。

* 研究計画書（1部）は、4月末までに、へき研事務室に提出してください。

研究計画の採否

* 予算示達をうけて、7月初旬をめどに決定します。

研究成果の投稿締め切りは平成17年5月末です。（『へき地教育研究』第60号に収録）

* 調査研究の研究課題は、次の3つの領域に属するものとする。

- ・へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ・へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ・へき地・小規模校教育にかかわる地域研究

* 「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を簡略に明記する。

紀要『へき地教育研究』第58号の発刊について

諸先生方の御協力を得て、『へき地教育研究』第58号を発刊致しました。本誌は全教官に配付しておりませんので、御希望の先生はへき研事務局までご連絡ください。

へき地教育研究 第58号 (2003年12月)

地域住民からみた学校の存在	須田康之
限界過疎地における山村留学の可能性と課題	
経済・社会問題の解決の一環としての山村留学	玉井康之
へき地・小規模校における国語科教育指導のプログラム開発に向けて	
夏井邦男・乳井幸教・古川邦彦・川野靖幸・丸山敏儀	
地域の伝統芸能と和楽器を組み合わせた音楽の教材開発に関する研究	
尾藤弥生・中村政雄・杉本邦雄	
環境に配慮した地域の天然素材を利用した染色教材の開発	
土顔料による綿布の染色	小松恵美子・森田みゆき
へき地指定学校における技術科教育実践の実態調査研究	
北海道南部(道南三地区)におけるへき地中学校の実態調査研究	
阿部二郎・佐藤廣賢・松本啓資	
道東地方の小学校における毎月の体重測定による発育の基礎的研究	
岡安多香子・山田玲子・西川武志・荒島真一郎	
意欲的に取り組む体力づくりプログラムの作成と展開	
猿払村立知来別小学校における児童の活動を通して	
三浦裕・中野智如・本間智恵子・木戸真理子大石真・小林禎三・片岡繁雄	
旧産炭地におけるコミュニティ・ミュージアム活動による	
オルタナティブな地域学習の展開	今尚之
学生教育・年間カリキュラム構成に位置づく、	
小規模フリースクール(夕張)での授業実践研究	倉賀野志郎
ブラジルの日本語教育における複式授業	
異能力混在型学級の指導法の改善を目指して	鈴木潤吉

研究紀要『へき地教育研究』第59号の投稿締め切り

- (1)平成15年度に採択された研究計画の成果の投稿締め切りは、平成16年5月末です。
『へき地教育研究』執筆要綱に基づいて、紀要原稿提出用紙を添付の上、へき研事務局に提出してください。所定の提出用紙は、へき研ホームページでも掲載しております。
- (2)研究費の配分を受けていない方からの投稿も歓迎します。詳細は、へき研事務局にお問い合わせください。